

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-  
第 3116 回例会 令和 5 年 9 月 19 日(火) 天気:晴 No.8

2023-24年度  
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 穴戸秀隆

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

### 【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

食 事 こばやし屋

プログラム 『3RC合同ガバナー公式訪問』 RI2760 地区ガバナー 酒井法丈君

RI2760 地区幹事 杉浦敏夫君 RI2760 地区副幹事 松井博文君



### 【会長挨拶】



RI会長であるスコットランドのゴードンR. マッキナリー氏は「Create hope in the world 世界に希望を生み出そう」をテーマに、メンタルヘルスの重要性を訴えています。それに基づいて第2760地区の酒井ガバナーは「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」を掲げています。今日はロータリアンが未来に向けてどのように行動するのか考える良い機会です。また、ロータリーではDEIを掲げています。多様性、公平さ、包括・一体性です。これを考えながら行動する必要があります。今日はガバナーの卓話を聞きながら、そういうことを考える日にしたいと思います。

### 【委員会報告】

#### 〈各クラブ出席委員会〉

本日の出席数

(西尾RC) 出席者数 55名 欠席数 11名 出席率 83.33%

(西尾一色RC) 出席者数 11名 欠席数 9名 出席率 64.7%

(西尾KIRARARC) 出席者数 35名 欠席数 20名 出席率 85.37%

#### 〈スマイルボックス委員会〉(西尾RC)谷崎直樹委員長

ガバナー 酒井法丈君 地区幹事 杉浦敏夫君 地区副幹事 松井博文君 ご厚志をいただきました。

西尾一色RC会長 鳥居万里君 酒井ガバナーにおかれましては、ようこそ西尾の地にお越しいいただき、有難うございます。本日はご指導よろしくお願ひ致します。

西尾KIRARARC会長 榊原 章君 酒井ガバナー、杉浦地区幹事、松井地区副幹事ようこそ西尾へ。酒井ガバナーのお話をじっくり聞かせて頂きます。また今日を楽しんで下さい。

西尾RC会長 朝岡 正君 酒井ガバナー、杉浦地区幹事、松井地区副幹事ようこそ西尾へ。酒井ガバナー卓話宜しくお願ひします。

#### 〈各クラブ会員増強委員会〉

物故会員黙祷

西尾RC 岩瀬正範君(2023.6.4)

西尾KIRARARC 杉浦正昭君(2022.11.21)

新入会員紹介

西尾RC 永田恵一君(2022.12.13) 加藤浩君(2023.8.22) 傍嶋茂君(2023.8.22)

西尾一色RC 久米健史君(2023.1.5) 早川博也君(2023.7.2)

西尾KIRARARC 市田重親君(2022.9.16) 近藤晋一郎君(2023.6.16) 金田健史君(2023.6.16)

## 【卓話】

### 『3RC合同ガバナー公式訪問』 RI2760 地区ガバナー 酒井法丈君



RI会長はスコットランドのゴードンR.マッキナリー氏で、テーマは「世界に希望を生み出そう」です。この背景には帰属意識とインクルージョンの浸透があり、「積極的に平和のための土壌づくりとして我々は奉仕プロジェクトをしており、平和は各々が努力し、オープンな対話をしなければ勝ち得ることはできない。」と語っています。会員増強では、「素晴らしいクラブ体験を提供できるようにリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地の良い、これ以上ない魅力的なクラブを作りましょう。」と語っています。魅力的なクラブを作ることとロータリーへの帰属意識を高めることが重要です。帰属意識とはクラブへの愛着を持つことです。

RI会長は3つの重点事項、①ポリオプラスプログラム、②メンタルヘルス、③女兒のエンパワメントを挙げています。会長方針の「希望」について、聖書に「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。そして希望は失望に終わることはない。」という言葉があります。最初から希望があるわけではなく、目標を持つから苦難に立ち向かうことができ、希望は努力した先にしか見えてきません。奉仕プロジェクトも希望があるからやるわけではなく、奉仕プロジェクトをした先に希望が見えてくるのだと思います。

皆さんはなぜロータリーに入会しましたか。会員はどういう人たちですか。クラブでは何をしていますか。会員であり続けるのはなぜですか。クラブを代表する活動は何ですか。自分自身に問いかけてみてください。答えは人それぞれです。会員は、自ら従事している職業が所在する地域社会の中で役に立ち、かつ為になるものとなるよう日々研鑽努力している人たちで、ロータリーは交流することでお互い研鑽を行う場として例会を開催しています。だから例会は大事で、出席が義務なのです。皆さんは居心地が良いから会員であり続けます。

ビジョン声明「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」を達成するために、RIは4つの行動計画 ①より大きなインパクトをもたらす、②参加者の基盤を広げる、③参加者の積極的な関わりを促す、④適応力を高める、を発表しています。先ほどの問いかけは、行動計画に繋がります。RIが推奨することに難しいことは何ともありません。考え方を少しだけ変えてください。より大きなインパクトには、やはり新しい方法が必要です。参加者の基盤を広げるために、繋がりと機会を作り出していきます。ロータリー本位な考え方ではなく、適応力を高めることによって、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEIについて、多様性という価値観はロータリーが始まってからずっと我々の中にもありました。今に始まったことではありません。多様性は表層的なものではなく、深層に思い致した対応が重要です。公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうか鍵となります。インクルージョンは感覚ではなく、四つのテストにある通り、実際の言行に生かすことが望まれます。

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪のごとく言われますが、実は1つの大きな輪として捉えられます。親睦により自身の成長する機会を得ることができ、奉仕によって心の豊かさを培えることがロータリーの魅力です。よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

最後に4つのお願いをさせていただきます。①ロータリー財団への寄付(目標は1人150ドル、ポリオ30ドル)、②地区大会への参加(11月11日・12日開催/ホストクラブは豊田東ロータリークラブ)、③RFF(ロータリー・フード・フェスティバル)への積極的な参加(チケット購入及び企業協賛のご協力)、④世界大会でのガバナーナイトへの参加(来年5月25日、シンガポール)です。ご協力、たくさんのご参加をよろしくお願い致します。



(左上)懇談会の様子 (左下)新入会員とガバナー  
(右上)3クラブ会長・幹事とガバナー・地区幹事